SCREEN

G P

アビッド・フレ

に紹介した通り、パッ 出力の指示を行う。 見

SへJDFで出力する シャープからEQU

クフロー)」が真価を発

QUIOSがJDF

テムや工程管理システ

た。パックシャープ



工程管理

高度なパッケージ DTP 作業の効率化/標準化

第1ステップ

第2ステップ

第3ステップ

n t e n t s

(デジタル

データの安全性と作業工程の合理化

基幹システムと製版システムの融合

らない。 そこでSCR

が開発するミドルカ

t

つなぎ合わせなければな

オーマットを変換し

に存在した。 化を推進し 販売・サー SCREEN GP 今回、その内容や仕組みについて紹介する。 る。そして今年6月、自動化および高効率化をさらに加速する新たな機能をリリースした。そこで 京都中央区、三島一剛社長)は、パッケージ業界における製版処理の効率化や自動化を推進してい ㈱SCREEN GP ジャパン (東京都江東区、有賀賢一社長) とアビッド・フレックス㈱ (東

SCREENグラフィッ 国内販売会社として設立 大日本スクリーン製造) の印刷・製版関連機器の して設立。両社ともに ノレックスは2007年 に製版・印刷関連機器の また、アビッド・ -ビスを専門と 業とのデー ことができる。 e e 使用される「Out 替えが可能となった。 n e P D F にロット番号などの差し (アウトラインPD

-タ受け渡しに

協

段階的に構築できるよう

CREENGPジャパン

増えつつある。今回はS

は多くの時間を要し、 務を任せるまでには相当

技術継承のための育成に の基に成り立っている。

や写真画像のトラップ

処理可能だ。トラップ設

用途に合わせて

に関しても、インキの使 用状況からグラデーショ

で再演算や再保存され

、工程

愛か判断している。こ

上程を自動化すること

にEQUIOSへ届け

ゴースト対策の捨てベタ

ージ印刷で多用される

dv. (アウトライ

n e P D F

示を送る。トラップ処理、

DFアドバンス)の魁

Fで指示することに

版面設計の情報をす

理は専任者の知見や経験

プを自動生成でき、 ハウを必要とするニゲ

転が必要なケースもサ

る。ボタン1つでトラッ

力化」だ。この効率化を

A d v a n

多くのパ

を三段階のステップ

ある。パックシャープは

は別レイヤーに格納され

オフセット機、

「標準化」「省力化」

デザインデータと

ン機能も有

、トラップデー

成する捨てグラデーショ

状の捨てベタを自動生

デジタル機の出力デバ

ックシャープ」

また、構築にあたり、

クスが提案するワー およびアビッド・フレッ

を図る最適なソフト

この製版工程の効率化

択で最適な処理が施され

創も不可欠である。 DX

をパッ

いくつもの工程

化」「自動化」をテーマ

を連携して製造部門

効率化を推進する

現・構築するためのコン印刷分野で効率化を実 ジャパンは商業印刷分野

えて、 刷問わず大きな問題を抱 が足らない」。人手不足 EO」である。印刷業は、 いる。基本的に「人 スループットを向 パッケー RIP処理

合わせる。コンピュー 効率化を提案する際に は、「自動化」「標準化」「省 PACK NEO

業は、ソフトウェアでサ の精度、ミスの低減を図 要のない工程は「自動化」 付加価値を生む手作 することにより、 知見に左右されるよ タベース化し「標準 人を介す必 保を両立するJDF連携 効率化向上と安全性の確 トジョブにおける

業におけるリスクは一定 の網点設定など、

出力設定確定

再版対応

でジョブ管理

再版対応

再販時、前回と同じ設定 (線数・網角) で出力!

でジョブ管理

作業による工程が商品の ケースが多々存在するか

データチェック

けるファイル選択や特色 ムとして分離していたた これまで面付け工程と P処理工程がシステ

と事情が少し異なる。 欠かせない。ただし、パッ ジ印刷は、商業印刷 製版/版下作業

Pack 88°

トラップ処理

SCREENグラフィッ

能」を利用することで、

フレックスが販売す

で各作業の効率化

で各作業の効率化

🐕 Pack Flow Pack 器 で自動化

自動で完了!

クセサリ

NEW! JDF 連携対応

PDF 互換性の担保 協力企業と受け渡し可能

る「Pack#(パッ

検版

手動検版

受注~製版までの効 工程で欠かせないトラッ 第1ステップ

標準化・省力化の

ータを読み

版面設計完了後

さらなる省力化への

OS」へCTP版

出力が可能になる。更 履歴情報として保管

で自動検版

印刷会社の製造工程

刷会社にとって非常に 職率の高さなどから、

る。ただ、各工程でデ がデータベース化さ タベース化されたノウ 化できると、必要な鉛 ノは、異なるフォー シャープ・パックフロー・ 独自の仕組みを構築す この仕組みをパック

スク Compare K バッケージコンペ 入した「Pack 昨年末に

パッケージジョ

管理でもメリット JOBを置版する際に ン情報(線数、網角) JDFでの連携は OSCOJO

実現できることを意味 築する事ができる。

換を担保したまま協業 出力結果の 安定した製造工程を構

第3ステップ自動化で一歩先に行く

なぜなら、人手不足め する手立てはないのか イントを減らし、製造 さらに操作のタッチ のスループットを向

質は人の知見に左右さ ない運用の構築が求め ある。そのため、製版 難になりつつあるから 要な製版技術の継承が 第2ステップまで効 めている。特色レ 色再現域を維持 決められた

パッケージ分野で高い技 る網角の管理を実現する。 ことでこれまでにない新 および多色セットにおけ 適な色分解とカブセ処理
 OSと合わせ最 SCREEN

DIGITAL CONTENTS FACTORYERE

いるため、この各工程

(形式)で構築され

基幹システムの情報を取得し DCF が指示を送る

SCREEN GP ジャパン

アビッド・フレックス

パッケージ業界のDX化

AVID FLEX

トに変換しパックフ

OS へ指



PACK NEO

SCREEN GP ジャパンとアビッド・フレックスは パッケージ業界における様々な課題を解決するソリューションを 製版へのアプローチを通じて、お客様とともに考え提案いたします。

株式会社 **SCREEN** GP ジャパン 本社/03(5621)8266(代) 〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目 1-1 ヤマタネ深川 1 号館



アビッド・フレックス株式会社 本社/03(5524)7744(代) 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-19-13 丸美屋ビル 3F

